

真和

∞生体システム実践研究会

9 2022
令和四年
月号



年間テーマ

巔 精髓 想全

感性能力を磨き、
感の探究が
単位存在の本質を
求めることにつながる

● 東関東千葉支部特集

● 支部の実践者紹介
● 産業技術セミナーレポート

● 学問を学ぶ意義

● はじめの一步

● お知らせ・勉強会案内・編集後記

東関東千葉支部で3年ぶりに
産業技術セミナーが開催されました。

すべての音響機器が命慧から電源をとられています。



事務長の津島さんも歌のレッスンを受けているそうです。



小林さんが歌手として出した歌のポスターです



小林哲也音楽事務所・小林哲也歌謡教室 主宰

小林 哲也さん 会員番号 5017
歌手 & 経営者

東関東千葉支部の実践者

歌手活動をしながら、人の音響では納得できずに自分で音響をはじめたという小林哲也さん。長年音楽の世界に携わってきた音のプロが生体エネルギー技術に初めてふれたときのことを語ってくれました。

小林氏・初めてくきみをポケットに入れて歌ったときに、声の響きがまったく違って驚きました。声は体調によっても変わるので、体調の良いときは、体が柔らかく、リラクセスして、声が響いて前に出ていくのがわかるんです。反対に、体が疲れていて筋肉が固いときには、一生懸命頑張って声を前に押し出そうとしても、思ったように響きませんが、この時は体調が良くなかったのに、くきみを持ったから声が出るようになったんです。同じパワーでも20%アップしたような感覚でした。

この時はパワーだと思っていましたが、実際はパワーだけでなく「音の粒がしっかりすること」に気づきました。流れてしまっていて粒が立っていない音が、はっきりと粒立ちがよくなくて、耳に入ってくる一音一音がはっきりと聴こえるようになる。歌の上手な人は、この音の粒立ちがしっかりして、しっかりと言葉が歌詞として聴こえてきます。逆に、上手でない人は一生懸命謳っているつもりでも、言葉が流れてしまっていて粒が見えなくなってしまいます。耳に入ってくる音は、心に入ってくる音。耳に入っていない音は、心に入っていない音。この粒がはっきりして、きらめく感覚はとても印象的でした。

編集部・このお話は生体エネルギー理論そのものだと感じました。ひとつの「個」が明確になってこの個性が明確になるのが、生体エネルギー理論。例えば、元素であれば、個の生体エネルギー準位が高まることで金属が錆びなくなるのも、個の能力が高まって自立できる状態になるからなんです。人の精

した。レモンは生体エネルギー準位が高まると、酸っぱさ以外の味の個性（五味は甘味・辛味・酸味・苦味・塩味）が出てきて酸っぱさが際立たなくなりました。人間でも同じです。エグく感じた人が、生体エネルギー準位が高まるとそのエグさが深味や旨味になったりします。命慧で音楽のボリュームが下がったと感じるのも、耳への刺激が刺激でなくなったとも考えられます。体が受け入れてくれる音を命慧はつくってくれているのでしょね。

小林氏・今は殆どの音が人工音になっています。スピーカーは空気を震わすので、自然に近い構造ですが、音はデジタルがほとんどです。これは音楽の永遠のテーマですね。

理想とするのは「耳にキンキンこない、耳障りの良い心地いい音」です。音が小さくてもちゃんと聴こえてくる。大きくてもいい感じに聴こえてくる。高いスピーカーや機材を使えばいい音出るんですよ。でも、命慧をつなぐと、今までと違って音が自然だし、なによりも聴き心地がいいんです。それは間違いないです。命慧で電気を変えるだけで音が変わるのですから、スピーカーなどのいい音響機材で換算したらゆうに100万円以上の価値はあるでしょうね。（命慧は14万8000円）

あとは自分が調子悪くても、音が来るような音響にしたいと思っています。

編集部・佐藤先生の物語に「あなた好味」という味があります。例えば、1本のお酒が辛口のお酒が好きなた人には辛口になり、甘口のお酒が好きなた人には甘口になる。これが「あなた好味」です。能力を高めた空間の中では、音でもこの物語を誘導することが出来ます。少し実験してみましょう！

神的にも、個がしっかりすると依存もなくなり、自立できるようになる。こうした現象が「音」という個にも当てはまるのだと教えていただきました。

小林氏・音というのは一個一個の繋がりはなんです。言葉がはっきりしてくるのは、歌の上達の度合いでもあります。歌を覚えてくると、一個一個の音に意識がいくようになります。逆に、覚えていないと、次と歌おうとして流れて置き去りになってしまいうんです。

くきみの次は、命慧をカラオケのプレイヤーやアンプやマイクの電源に接続しました。そうすると、くきみの時は歌い手の声が変わったのが、カラオケから流れてくる音楽の粒が変わりました。特に、うちの店では高音の透きとおった感じが、前にもまして良くなりました。通常はミキサーで音の調整を細かくしていくのですが、命慧をつなぐと不思議と細かく調整しなくてもそれなりに聴こえてしまいます。もちろんそこをさらに調整して更に良くするのがプロですが（笑）

「耳障りがよくなる」という表現がしっくりきます。ただ、あんまり耳障りが良くなりすぎると、迫力がなく感じてきます。そういう時は音の圧をあげて上げるのですが、命慧をつないでいるとその圧がさほど上がらなくなります。

一個一個の音がきれいに出来るのは間違いありません。歌の場合だと、頑張って声を出さなくても音がでます。音楽の場合は、粒も良くなりました。大人しく感じるようにはなり、ボリュームは下がった感じがします。

編集部・音楽が大人しくなってボリュームが下がる感じがするというのは、生体エネルギー環境におけるレモンの味の変化に通じるものがあると感じま

実験内容

- ① 命慧の上に「若返りのブロック」を載せて音の違いを体感
- ② 命慧の下に紙に書いた物語で音の違いを体感。今回は「あとちちち」を「音ちちち」にした想像主を設定（※ちちちⅡ超次元超能力超優性）

それぞれに違いを体感していただきましたが、一番変化を感じたのは、「音ちちち」の紙の物語でカラオケを流したあとの私たちの声でした。これは、取材時に録音させていただいた音声で気づいたのですが、小林さんも私も、確実に声が低く深い声になっていました。音ちちちの想像主によって、命慧を通じた音の次元が変わった証拠だと感じました。

歌のレッスンの問い合わせはこちらをお願いします

カラオケ陽だまり・小林哲也歌謡教室
TEL: 090 (3139) 0892
住所: 茨城県潮来市潮来859
メールアドレス: rcedtmw6699@yahoo.co.jp



「命慧+若返りブロック+音ちちち」で支部事務長 津島さんが歌う「ブルー・シャトゥ（ブルー・コメッツ）」

右：アース用の鬼より線は敷地と建物に回し、祠の下の基盤とストローにも入っています。(次ページの写真参照)

下：新次元きわみに入る水の能力を高めるために設置された「上善岩盤」。この水道管の上に、医王石、かんらん岩が敷き詰められ、力丸コンクリートで能力岩盤化します。



高野さんのじんち (自宅)



株式会社高野臨海商事 代表取締役

高野 ふみ江さん

会員番号
4445

経営者

東関東千葉支部の実践者

以前は、西から出入りしていたのを、佐藤先生に指摘されて今の南東に変えました。西に入口があったことで、「だいぶ先祖の徳をつかってしまったね」と、入り口の重要性を実感しました。

じんちが支える精神性と経営管理能力

「あたし大したことやってないんですよ」
高野さんの「自宅」にお邪魔しての第一声がこの言葉でした。

そして「すごく幸せです」と。二言目に出てきたこの言葉にすべてが集約されているような気がしました。

じんちの能力リフォーム

高野さんは、2016年に自宅を生体エネルギー技術でフルリフォームしました。最初は建替えも想定していたのですが、佐藤先生に相談したところ、ご先祖様が紡いでくれた物語が機能しているというアドバイスを受け、それを活かしてリフォームをすることにしました。

高野さんの家の北西には祠があります。徳を授かるこの方位に祠があるのは、栄える家にするためにご先祖様がどなたかに相談してつくったものなのでしょう。ここをさらに機能させるために、新たに下に力丸コンクリートで基礎をつくり、いるなげみ電気のアースを流せるようにしました。(次頁の図参照)

能力リフォームの中心は、この祠と、犬走り、そして犬走りを兼ねた上善岩盤です。

上善岩盤は、10m以上の水道管の周りにかんらん岩・医王石配置し、それを力丸コンクリートで固めたものです。きわみに入る水道水の前提となる能力を高めていきます。きわみ水の能力の基準となっているのは、生体エネルギー研究所のある、浅間山麓の能力の高い水。下流に流れ出た街の水道水とは

いた小学校四年生の孫が、一切病院に行かなくなりました」

高野さんの家はもともと漁師でしたが、祖父の代に苦い経験をしたことから「絶対に真似されない仕事」ということで、汚泥などの産業廃棄物を処理して清掃する今の仕事を始めました。ちょうど鹿島港ができて鹿島に大きな産業が根付き始めた頃の話です。そして高野さんの父の代で特殊車両を次々と増やして、高野臨海商事にしかできない仕事が増えていきます。

その父が亡くなり、借金ばかりが増えていく状況でどうしようもなくなり、継ぐつもりがなかった高野さんに白羽の矢がたつこと。

その2、3年後に倫理法人会で津島さんにお会いして、本部勉強会に参加するようになりました。高野さんと会社が変わっていったのはその頃からだと思います。

これだけが糧やかごはなを育ててくれた

高野氏・倫理法人会は心の勉強で、生体エネルギー(当会)は実践の場だと思っています。何かすれば必ずそれに対する結果が出てきます。学んで終わりではないのいいと思うところです。

この家のリフォームだけでなく、水は新次元きわみ、電気はさとりピクマまで導入しました。何が一番よかったかという点、これだけ心が穏やかになるとは思いませんでした。人を叱ることもなくなり、イライラすることもなくなり、心穏やかになりました。四国八十八ヶ所巡りや三十三観音巡りにも興味を持って実践できる自分があるということも、とても幸せだと思っています。

そもその能力が異なります。この能力差を改善するために上善岩盤は考えられました。

個別プログラムできわみの水を更に活かす

昨年、北海道支部では、会員が目的別に「上善岩盤」を作成しました。

「最高の薬水」を目的とした水はイソジンの味がして、参加者一同驚いたと言います。ちょうどこの頃、新型コロナウイルスにイソジンが効くという話が出回っていた頃です。イソジンに含まれるヨウ素が免疫力を高めるポイントになることを上善岩盤が見せてくれました。そしてこの水を持ち帰った人の中には、その効果の高さから「最高の薬水」を毎週くみにきているそうです。

上善岩盤ではありませんが、同じ北海道の米村牧場で「唯一無二のチーズ」を目的としたときには、きわみの水に鉄の味がしました。チーズは牛の乳からできています。能力を高めた鉄の情報が必要だときわみが見せてくれたのです。もうひとつ「堆肥の能力を高める」目的では、きわみの水は硫黄の味になりました。これはまさにタンパク質のSS結合に必要な元素です。もしかしたら佐藤先生もこうして自然が見せてくれた答えを下学で解析していったのではないかと、とも思える出来事を実際におこっています。

能力リフォームした「じんち」に住んで

「住んでですごくいいです。みんな元気になってきたし、病気はなくなりました。いつも病院に行っていたので、次の事業を始めたいとも思っています。今までこの地で生活させてもらって、みなさんにお世話になりましたから、恩返しでお役に立てるようなことをしたいです。

創業50年、私が会社に関わって14年、この間に売上は倍くらいに成長しています。自分の想いを会社に転写するために、毎朝仏壇で念じています。じんちをつくってからは特にお金に困らなくなりました。生体エネルギー技術を導入し始めてから赤字はありません。会社は何も困ることもなく、思い通りに動いてくれます。決算時期に臨時ボーナスをだせるようにもなりました。従業員さんたちも本当に朗らかなんです。

いい縁を結ぶるようにもなってきました

会計士さんを変えたのもすごく良かったです。コロナ禍で仕事が減る中で3億円を借りても返せないと言っ不安は一切ありません。

「生体エネルギー商品は買ってつけたらそれ以上ものは入る」という佐藤先生の言うことを素直に実践していればこうした形になるんだと体感しています。お金がなくても、払える状態になる。これを味わえただけでもすごいと思います。私利私欲でなければ、お金は頂けるのだと最近よく思います。それがお天道様なんだろうなと。世間に



生体エネルギーレーザー彫刻した柄杓できわみの水を毎日撒いています。



家の北西の貴賓席に置かれた70個以上の丸コンクリートブロック。まだまだ加算していきたいです。左は、鬼門に置いたブロックです。これも何個あるかわからないくらいです。

(有) 能源のアース処理ナラ材ボールペン



毎年エネルギー金メッキをかけている宝物です。

右は9年前にいただいた大切な免状(空手道5段)額裏にとく丸ペンキを塗り、更にジャパンスリーブ印刷のランチョンマットを入れて、いただいた時のままの状態を維持。次回からは生体エネルギー賞状印刷 & 印鑑を使用して、生徒に免状が発行出来るようになりました! 下の旗は、空手の審判用。正確な審判ができるようにと、さとの電気で焼入れして高めています。

全日本空手道連盟 誠武会千葉

東関東千葉支部の実践者

3

根本 哲郎さん 空手師範

会員番号 2845



食材は、発泡スチロールの底に丸コンクリートを敷いて保存



いつも使っている急須や、マグカップ、お酒呑みセット、ご飯茶碗はもちろん生体エネルギー処理食卓の上にもジャパンスリーブ印刷のランチョンマットを敷いています



飲み水は生体処理したやかんに入れてます。きわみややかんの下にランチョンマットを敷いています



うちは水質が悪いので、元付けきわみの次に市から補助を受けて浄水器を設置。その浄水器に命慧を使用→次に台所用きわみを通させています。



仏壇にはリバイバルXが6本、神棚にも更に4本置かれていました。神棚にはしっかり神風が吹いていました。



電気誘導翻訳装置さとりは、L-W6、いるなけみ電気2台、新次元、ピクマ、アース磁場装置が設置され、敷地と祠と犬走りにアースが流されています。



家の北西の貴賓席に置かれた祠。この祠を高めるために、いるなけみ基盤とスローが設置され、アースが流せるようになっています。(右の写真)



私みたいな人間が、佐藤先生の力を借りてどんな設備を導入していいのかな?とも思っています。私は本当に鈍感で、先生が仰るようなじうしみの産業に繋げていきたい気持ちはあるのですが、これをどんな形にしたいか?まではいってないんです。そこまで行くことができれば、もっと生体エネルギー哲学的加学のことを理解できると思うんです。

高野氏: このことを教えてくれたのも、この会の学びだったと思っています。他の組織では上の方に行けば行くほど私利私欲で本場に嫌になってしまっていました。この会は今一番楽しいです。何もやらないで考えているだけでは何の意味もないと思うんです。いろいろチャレンジしてみたり、いろんな場所に出掛けてみたりしているうちに何か掴めるかなと思っているのが今の私です。お金はいただけるものだと思うので、銀行に貯め込もうとは思ってないんです。

編集部: お金のこと生き方も、自分の決断次第ということですね

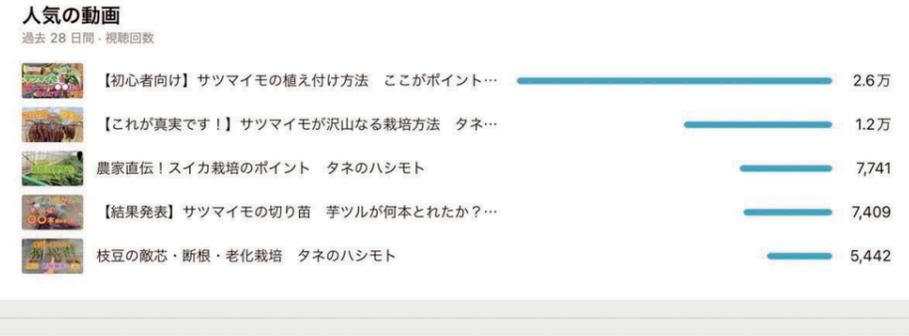
日常の何気ない行動(陰徳)の積み重ねが、豊かな気持ちにさせてくれていると思えることに本当に感謝しています。ここ4、5年は穏やかな気持ちでこんなに幸せでいいのかなと思えますが、この幸せを続けたいです。

一度、佐藤先生の眼の中に入れてみたいと思うんです。この世の中をどんな風にみているのだからと言うのを感じてみたいんです。それがみられたらまた私の人生も変わるんだろうなと。

編集部: 私もちよく興味あります

高野氏: 会に入らたての頃は本当に皆さんいろいろなことを教えてくださって、自分の至らなさを感じることがたくさんありました。それから思えば、今はとっても幸せです。今の幸せを次の人にお裾分けすることも務めなんだろうなと思えるようになりました。

取材を終えて...裏表なくひとつひとつ丁寧言葉紡いでいく高野さんからは、心と体が一体化している安心感を感じます。孫たちも含めて9人の家族には全員くきみまでは持たせているそう。「慈空もみんなの分が行き渡ったら家族の分も欲しいな」とおっしゃっていました。「悩むよりも実践してみよう」その行動力が結果に結びついているのだとわかります。



橋本氏...ユーチューブは自分の利益を目指した商売つぎのある話し方をすると相手にされませぬのでしょつか？

編集部...そうすると、直接的な自分の事業のためというよりも、業界全体への貢献を目指しているのではしょつか？

最近ではタネ屋ではない感じですが(笑) 企画を毎日考えてネタをつくりまわす。なんでもそうですが、下ごしらえと段取りが大変なんです。

以前は週に2回出していました。今は週に一回。一本10分の動画をあげるのに、企画から構成、撮影、編集とトータルで12時間以上はかかってしまいます。サムネイル(タイトル画面)だけでも、デザインに2時間以上かかるので、今は外注しています。ユーチューブの世界は甘いものではないと実感しています。

先駆けておもしろい企画を発信できると、評価も得られて励みにもなりますし、動画を観た方が勉強になって日々実践して、うまくいくとさらに嬉しさも倍増します。こうして社会貢献的な位置づけで情報発信をして、みなさんのお役に立つ動画をつくるのが、今の私の柱になっています。

佐藤先生のユーチューブ出演

橋本氏...実は一つ夢があって、そのうちに佐藤先生に出演していただきたいと思ってるんです。そのために今はユーチューブで影響力をもって、生体エネルギー理論と技術を受け入れてもらえるための土壌づくりをしています。

昨今、一般の農業資材も大幅に高騰してきているので、一般資材に比べると安くはない生体エネルギー応用農業資材が一般ユーザーにも受け入れてもらえる可能性が出てきたと感しています。

橋本氏...昔、地元の事業でアンケートを取ったことがあり、情報元は9割がSNSという結果から「これからの時代はSNSだ」と思っていました。私たちの商売形態も切り替えていく必要

編集部...最初からリサーチ目的ではじめたのですか？

橋本氏...10万回の再生で、広告料が3万5千円程度です。私の一番人気の動画で30万回再生です。平均が2千〜3千回です。ですから雀の涙程度です。ユーチューブの世界は厳しいですよ。(※この3年間で総再生回数720万回再生(252万円) ボランティアでやっているようなものだから、続ける意義はユーザーのリサーチと、今まで出会うことなかった多種多様な方々とのつながりで新しいチャンスに繋がって行きたいと思っています。動画を見てわざわざ会いに来てくれる方もいますからね。今までの動きとは明らかに変わってきたのは確かです。

編集部...制作から含めてかなりの労力をかけてらっしゃいますね。これを仕事として食べていくことは考えていますか？

「営利目的だろ？」という動画は再生回数がのびないんです。

例えば「困っていたことがあって、こんなことをしたらこうなったんだ、なんででしょうね？」という伝え方をすると興味を持ってもらえて、さらに動画を観たユーザーから「じゃあこうするとうなるでしょう？」というようなキャッチボールがコメントでできます。こうしたやり取りは大切なので、コメントにはすべて返信しています。



タネのハシモト
チャンネル登録者数 34,800人

BASEショップ開設のお知らせ
5,972 回視聴・1 年前

タネのハシモトチャンネル

アップロード済み

【これが真実です！】サツマイモが沢山の栽培方法 タネのハシモト
29万 回視聴・7 か月前

農家直伝！スイカ栽培のポイント タネのハシモト
23万 回視聴・2 年前

【芋の産地直送】サツマイモの苗づくり タネのハシモト
23万 回視聴・2 年前

玉葱の植え方> 簡略的方法 タネのハシモト
19万 回視聴・2 年前

種ショウガの植え付け タネのハシモト
19万 回視聴・2 年前

植え方の違い！サツマイモの収穫が変わります！ タネのハシモト
18万 回視聴・2 年前

【これが真実です！】サツマイモの6種類
18万 回視聴・1 年前

【茨城】サツマイモの寺
15万 回視聴・1 年前

【初心者必見】さつまいもの育て方 タネのハシモト
15万 回視聴・2 年前

【やさしい土】上品なサツマイモ栽培 タネのハシモト
14万 回視聴・1 年前

【秋まき野菜】初心者でも上手に作れる苗づくり タネのハシモト
13万 回視聴・1 年前

さつまいもの植え時期【家庭菜園】 タネのハシモト
13万 回視聴・2 年前

【発芽の管理】枝豆の種まき タネのハシモト
13万 回視聴・1 年前

【悲劇】タマネギ栽培の危機 タネのハシモト
12万 回視聴・2 年前

【新提案】ツル返しはもう古い！ 効率的なサツマイモ... タネのハシモト
12万 回視聴・1 か月前

【農家直伝】枝豆の栽培 タネのハシモト
12万 回視聴・2 年前

玉ねぎの追肥で肥大を促進！ タネのハシモト
11万 回視聴・2 年前

ネギ栽培の秘訣【タネ蒔き・定植・畝間・管理・天候】 タネのハシモト
10万 回視聴・1 年前

枝豆の敵芯・断根・老化栽培 タネのハシモト
9.6万 回視聴・1 年前

【初心者向け】サツマイモの植え付け方法 ここがポイント... タネのハシモト
8.8万 回視聴・2 か月前

タマネギの病気を抑える資材を確認する！ タネのハシモト
8.7万 回視聴・2 年前

ショウガの栽培方法 タネのハシモト
8.5万 回視聴・2 年前

そら豆の追肥と土寄せと整枝作業 タネのハシモト
8万 回視聴・2 年前

タネのハシモト株式会社 代表取締役
橋本 茂さん 会員番号 0565
経営者&ユーチューバー

僕がユーチューバーになった理由

橋本氏...動画を観てくれるのは、一般の家庭菜園をされている方です。

ユーチューブをはじめた目的は簡単で、一番知りたいのは「消費者心理」なんです。

例えばあるテーマでひとつ動画をつくったとしましょう。これをアップするとすぐに反応が見えてくるんです。この動画が視聴者に受けるのか？受けないのか？これをリサーチしているんです。

ユーチューブのすごいなと思うのは、ユーザーの情報を全て教えてくれるんです。(左頁参照) ユーザーがどの層で、どこから来るのか？というのを事細かに教えてくれるんです。ユーザー側からすると、この情報をもとに新たな動画をつくって下さいということなんです。

私も動画をつくってきただけで心がけているのは、知識のない方が観ていることが多いので、専門用語禁止、よりわかりやすい表現を心がけること、観てもらって評価を受けるためには必要なんです。

このコロナ禍の2年半で新たにユーチューブをはじめ、動画は700万回以上再生され、一躍人気ユーチューバーになった会員がいます。タネのハシモト株式会社の橋本茂さんです。

これまでにアップした動画は約300本。チャンネル登録者は3万5千人。ユーチューブは10万人のチャンネル登録で、それなりの影響力を得られるということ、まずはここを目指して日々動画をアップしています。

要があり、個人の発信が影響力をもてるならやってみよう！とはじめました。

最初は苦労の連続です。名もない橋本茂がぼつとやってそんなにヒットするわけでもないですから（笑）

「農業の素晴らしさを知ってもらいたい」

「野菜の価値を伝えたい」

動画を見た農家さんの利益が上がれば、私たちのタネの売上につながっていく。そのために一般の人たちがなにを求めているか、動画をいろいろと作りながら知ることは重要なんです。

編集部：動画がうまく事業に結びついたことはありますか？

橋本氏：動画の再生数は3千回程度と全くいきませんでした。狙い通りにヒットしたのは健康食品のクロレラをつかったサツマイモの栽培動画です。クロレラは全国にファンがいて、その人達に向けて「クロレラの農業資材をつかった栽培動画」をつくり「どうですか？使ってみませんか？」と発信したら、全国のクロレラの薬局さんからたくさん注文をいただくことが出来ました。これがいざかいてご縁ができたクロレラさんから連絡があり、近々私のところに撮影に来てくれることになりました。こうした今までになかった広がりがユーチューブをやっていると起こってきます。

生体エネルギー商品もシンプルにわかりやすく伝えられるようになる動画でも紹介しやすいと思っています。

編集部：会で看板ユーチューバーとして雇えるくらいの資金力が欲しいですね(笑)会でもホームページをつくっているの、橋本さんのエッセンスがあると観てくれる人も増えるんじゃないかと思えます。

橋本氏：ユーチューブでやりがちな失敗例は「はじめに話しちやだめ」なんです。絶対につまらないんです。



精米機にレーザー彫刻された徳字はマルセイ展示会でイメージサウさんに加工していただきました。お気に入りです。

いそはた株式会社 代表取締役

5 五十畑 秀俊さん 会員番号 3613
経営者 (米穀全般)

東関東千葉支部の実践者

僕はそこに親しみやすさと楽しさが欲しいんです。アカデミックな雰囲気もいいのですが、ユーチューブを観ている層の多くは楽しさの方を求めています。興味を持ってもらうためにそちらに寄り添うことも必要だと思っただけです。

僕も本当に伝えたいことは別にあります。ただ、今はまだそれはユーチューブでは受け入れてもらえない土壌にないんです。ですから、今は一般的に受け入れてもらえるアプローチをして、コアなファンがついたときに専門チャンネルをつくって、僕の話を書きたい人たちに聞いてもらう場をつくるのが今のスタイルなんです。

編集部：ここ3年で会の活動とは別の切り口で社会との接点をつくってこられた橋本さんが生体エネルギー理論と技術を伝えるなら、どう伝えますか？

橋本氏：キーワードは「ワクワク感!!」自分が欲すること、それしかないですよ。そのワクワク感に生体エネルギー技術をはめる事ができれば人にも伝わると思っています。それは十人十色なんです。でもそこになにかしらの共通点はあるはずなんです。ここそこを押しえておけば誘導できそうだというポイントを見つけるという事です。

自分の生業とする農業では「価値のある野菜をみなさんに理解してもらいたい」「これしかありません。農産物のデータをとつても、またよくわからないんです。これ乗り越えるにはどうしたらいいか？悲しいかな「広告塔」だと思っただけです。女の子が子供でしようか。みていて柔らかさを感じるような方が広告塔になってくれると、親しみを持って関係性を築けると思っています。

今の自分がやるのは「じつじ」のお陰

橋本氏：僕は25年以上前に自宅兼お店を建てるときに

米屋としての役割

業務用のお米を中心に、全国のお米を6万俵扱っている五十畑さんは、何をもって米屋というのか？をしっかりもっておかないと厳しい時代だと言います。農家から直接買うお米と、米屋から買うお米、何が違うの？と聞かれた時に、私は精米で能力加算ができるので、このメリットを説明します。

新たな米屋の姿を想像する

そんな五十畑さんが今取り組んでいるのが「やまと心米」です。米屋は米の栽培はしない流通業です。千葉のアグリ金穂咲さんや、山形の米研さんがつくったプログラム農法のお米を仕入れたりしています。取り扱う大部分は慣行農法のお米です。この仕入れたお米の能力を高めるために、生体エネルギー技術を導入しています。さとりーW3、農業用命慧、しらべ、しらべS、しらべEちちなどを活用して精米し、これをさらに加算して新たな「やまと心米」として進化させたいと思っています。

「日本人がちゃんとした言葉を使って、ちゃんとしたことをすれば世界は平和になるんじゃないか」五十畑さんはお米がそのために重要な要素になると感じ、そのお米を「やまと心米」と名付けました。やまと心は大和心。いわば大調和の世界です。

それは佐藤先生の仰る、一切の否定のない「せぜせ」の世界とも通じます。本誌の名前でもある「真和」はこの宇宙の最初の場。宗・主神が一体化する場です。「やまと心」にはこうした意味も含まれていると感じます。

宗・・・論理学の結論に相当する存在
主・・・物事を働きかける中心
神・・・全知全能(あらゆる叡智と機能の源)の想造の絶対的存在

佐藤先生には3回も見に来てもらって、じんちを建てているんです。このじんちでの一日一日の積重ねの上に、今の自分の思考態があり、今の動きができているのだと思っています。じんちが農業の土づくりと同じです。土ができてないといいい野菜ができないように、いいじんちがなければ、精神性が伴ったいい発想も浮かんできませんよ。自分が満たされる次元から、誰かのために動ける次元に移行しないと、社会的な動きはできないのだと思います。

ワクワクしながら植物と共同想造する

橋本氏：今僕は、会を客観的にみている3回目の時期なんです(笑)

「生体エネルギー技術を使えばすべてが満たされる」という風潮が見え隠れしますが、本当にそうなのでしょか？生体エネルギー技術は道具であり、使いこなすものはずなのに、そうした話が会員の中でほとんどでこないと感じてしまっています。

過去に研究員で学んでいたときに、種処理で植物がこうしたら共感してくれるかな、認めてくれるかなという感覚を掴むことが出来ました。その時の気づきを日々の農業の実践して反応を見えています。

毎日農作業をして、植物は反応で見せてくれることがわかったからこそ、沸き立つ意欲が必要だと思えますし、植物から感謝・祈り・よろこび、これらが必要だと教えてもらったと思っています。

30年前は佐藤先生の話も精神性の部分が多く含まれていて、私はそうした話が好きでした。その話があったから、今の私があると思っています。正直な所、商売の上手下手で言えば、下手になってしまつたのかもしれない。この会の産業者としては失格なのかもしれないが、次の世代に残せる礎ができれば本望だと思っています。徳があるとするならば、僕にはなく次の世代に使ってほしいと思っています。■

神仏を尊ぶ精神性

五十畑家は神仏にまつわる沙汰が多く、昔から目に見えない世界には敏感なのだそう。

例えば年に2回ある土用期間に敷地内に穴掘ると怒られます。鎌立てただけでもダメなんです。水平ならまだいいです。あとは杭を打ったり、穴掘ったりすると熱が出たり体調に現れます。何か問題が起きた時に、その理由を感知するとピタッとおさまったりします。そういう力にも導かれているんです。

お墓も、前はコンクリートだった部分を土に変えて底力を撒いたら、土の部分に猫や犬が糞をするんです。ある時、嫁さんが「頭いたい」と言うのも、いやと思ってお墓に行ったら糞があって、それを取って家に電話したら「頭いたいの治った」と言っただけです。こうしたことがこれまでに8回もありました。

「やまと心米」と「郷米」

五十畑さんは「響(郷音)」という言葉が好きだそうです。それなら「郷米」も「やまと心米」の物語になるね、という話にもなりました。佐藤先生の提唱する十五味にもふるさとの味「郷味」があります。「郷」は人が本質的に求める物語なのでしょう。

「日本人の主食・お米が日本人としての底力を発揮できるような、そうしたお米になって欲しいと思います。それは私に関わるお米だけでなく、日本中の農家さんのつくるお米がそうあって欲しいです」■

連絡先：いそはた株式会社
TEL: 02880(32) 1031
FAX: 02880(33) 0763
https://ishohata.shop/
ショップは10月頃開始予定です



- 10:00 「生体エネルギーとは？その実績と可能性」
栗田 康弘氏 株マーケティング・エクセレンス代表取締役、生体システム実践研究会 幹事長
- 11:00 「身体と心と建物の免疫力を高める『免疫力の家』の秘密」
伊豆山幸男氏 伊豆山建設(株) 代表取締役
- 12:00 昼食
- 13:00 「生体エネルギーを取り入れた賃貸経営改善の実績」
荒川 洋一氏 豊大(株) 代表取締役、生体システム実践研究会 元幹事長
- 14:30 「生体エネルギーを応用した全国の実践例」
大野 純平氏 生体システム実践研究会 会報誌「真和」 編集部長
- 15:30 終了



**東関東千葉支部事務局長
津島正幸さん**
会員番号 0187



東関東千葉支部は事務局の置かれる(株)イマジンコーポレーション主催で約3年ぶりに外部講師を招き勉強会が開催されました。開催前にコロナが急増し開催自体危ぶまれたために、1週間前に建築・土木関係者を中心にチラシも出さず直接声をかけ、37名の方が参加されました。

きわみ・カ丸・リラックスウォールに關心をもたれた参加者のおひとり9階建てのマンション(33室)を建設中で、早速導入に向けて話がすすんでいるそうです。

津島氏：自分に正直に自然にほめられる方向で目標をもって精神の向上と環境を高めていきたいです。言い出しっぱはまず体制をつくっていきたくと思っています。できたらいではなく、まずは自ら体現するため、このコロナ禍で110キロ↓83キロにシェイプアップしました。60キロ台を目指しています。■

**(有)ひだまり・塚本樹苗園
塚本洋壽さん**
会員番号 0157



編集部：3年ぶりの外部講師による支部勉強会、いかがでしたか？

塚本氏：わかりやすかったです。わかりやすいというのは、荒川さんがこれまでに実践して来られたことを写真、数字、答えをもって視覚的に話してくれたことです。例えば、茨城だったら「日本のさつまいも」をつくるにはこうゆう前提が必要で、条件を整えればこうなる。机上の勉強ではなく実践された生の声はどんな質問にも答えられるし「自分にできないことをできると思える」説得力のあるお話をした。それを他の講師の方々が肉付けをしてくれる勉強会でした。はじめての方も2〜3回聞いたら腑に落ちていくんじゃないかな。

塚本さんは千葉県で生体エネルギー応用商品取扱店「有限会社ひだまり」の代表として、また植木生産を事業とする塚本樹苗園の5代目です。

ご神木や門松、様々な木々を扱われる中で「これらの木々の遺伝子にどんな魂を入れるか。職人の仕事とは魂を入れること」と「先代から口伝と実践で学びとりなさい」と職人の教えをまさに自分のものにされている方です。

「自分を生かすことは自然に礼をつくすこと。昔は生きるための山仕事だったけど、今はお金のための山仕事になっているかもしれないね」

「自然は変化していく、昔の人は変化していく自然を学び続け、私たちに教えてくれた。佐藤先生はそれらの教えを紐解き加学し、誰もが学問としてつかえるようにしてくれていると思うよ」

塚本さんの教えは息子の塚本和範さん(次頁)に受け継がれています。■

有限会社イマジンコーポレーションあやめ生産組合、やめ生産組合は、茨城県潮来市を基盤に「元気な生産者」「元気な土」「元気な野菜」の合言葉で関東一円の組合員農家が「丸」となっており「本物」「健康」「安心」「プラス」のキーワードのもと、食べて元気になれる野菜造りを目指しています。

土造りはこだわり抜いた特別有機肥料「あやめユーキ」「底力」「真和X」「AEC」が野菜のエネルギーを高めておこなわれていまして。

集荷してきた野菜の保管時には「しらべE」「電気誘導翻訳装置さとり」を使用してエネルギーを加算しています。

梱包は生体エネルギーを使用したオリジナルでくみ上げた「野菜用エア装置V型」を通過させ、さらにエネルギーを加算しております。

詰め合わせる野菜はくみあい旬の野菜を中心に厳選したラインナップで自信をもってお届けいたしますので、是非ともご賞味ください。■



東関東千葉支部の実践者
有限会社イマジンコーポレーションあやめ生産組合
津島 正幸さん 会員番号 0187
経営者 & 支部事務局長



生体エネルギー活用
旬の野菜セット
QRコード

<https://tsuku2.jp/ayame>

父(右記の塚本洋壽さん)から聞く話の中で「イモリノキ」という話があります。僕の住む地域では海風や風雨から建物を守るために、昔は建物のまわりに樹木を植え、風雨から建物をまもり、この樹木の事を「イモリノキ」と呼んでいたそうです。

この話と、8月に開催された長野支部主催勉強会でイチイの樹を活用した環境作りとリンクするなと思いつきながら勉強会に参加していました。

植物は天高く成長するのと同時に、地下に広く根をのびし根圏域を広げ、地上地下に大きな生態系を作ります。ここに生体エネルギー技術を活用することで、樹木の能力を引き出し更に良い環境作りとする。

家庭という言葉が、家と庭で成り立っているのを見ると、家づくり同様庭造りも大切なんだと勉強会に参加して改めて実感した所です。

現在は生活様式も昔と異なり、マンションにお住まいの方などお庭をお持ちでない方もいらっしゃると思いますが、観葉植物や鉢植え・プランターでの野菜栽培などで植物とふれ合いを持つ方もいると思います。

そういった方に、活用いただけたらと思いついた方に「健耕土壌」という土壌改良培土を作りました。数量に限りはありますが株式会社マルセイの展示スペースに試供品も置いてありますのでお試しください。■



問い合わせ先

LINE 登録
QRコード



電話番号
080(1158)4319

No.282

はじめの一步

リレー投稿 Since 1999



あさい 朝井 ふみ

(青森支部・会誌1549)

コンニチハー青森支部の朝井ふみです。

私が生体システム実践研究会に入会したのは平成9年2月でした。今から25年前になります。平成8年秋に佐藤先生が来青した時だったと思います。

今となつては大昔の事ゆえはつきりしませんが、当時青森支部事務局の鹿内さんがどうしても聞かせたいからと強い誘いがあったので行く事にしました。今までの人生の中で見聞きした事のないお話で、信じられないような、でも、信じざるを得ないような実験まじりの勉強会で、あつと驚く事ばかりでした。昔は浄水器(さわみ)が主のような気がします。外見だけで漠然と生きてきた私にとって、水の内容、ミネラル、元素がとても重要である事。何もかもが新鮮ですっかり先生の虜になってしまいました。

翌年2月、娘にも聞かせたくて2人で参加し、水によって体の細胞が変わる、食が変わる、環境が変わる事がわかり素晴らしい事を学ばせてもらったと思っています。

昨年の真和6月号にも書きましたが、3年前に在るなけみ基盤の新居に入ってから、めまぐるしい程様々な事が動き出しています。気付かないでいると気付かせてくれたり、感じさせてくれます。

一番わかりやすかつた事は、体の表面に見える部分で左手首に直径3cm程のコブがあつたのですが、気付かないうちに消えてなくなつていました。自分でも驚いています。

健康とは魂、心、体が1つになつてはじめてと言える言葉だと佐藤先生は言っていました。以前はよく理解できませんでした。今は解るようになりました。悩んでいる時は必ずといっていいくらい解決する方向に導かれます。

今までは、外ばかり目を向けて自分自身の事をないがしろにしてきました。内なる心に目を向けるようになったら、自分の心が外れたりすると元に戻そうとして反応系が動きます。例えば、体に湿疹が出たりして教えてくれることもあります。

大病もせず健康でいられる事は、本当に生体エネルギーのおかげだとつくづく思います。今まで生きてきた中でどれだけの人達と出会いがあつて縁してきたか、いつも考えます。生体エネルギーの仲間の人達との出会いは、私にとつても大切な宝です。

本当に感謝です。ありがとうございました。

そして第一のはじめの一步は、お米を自分達で造ることでした。今年で2年目ですが、去年は生体エネルギー資材をまく事だけで終わりました。

編集部より

本誌は会員のひとりひとりが作り上げていく会報誌として、投稿された方の生の声を尊重しておりますが、実践や理論の専門的なことは生体エネルギー研究所に監修を依頼しております。内容により一部表現を変更させて頂く場合がございます。ご理解を賜りたく存じます。

したが、今年除草剤を使わずに草取りにトライしてみました。これか思ったより大変で草が稲に絡みつきなかなか思うように抜けません。田んぼは、約300坪、家族5人で取っていますが、半日草取りするだけで腰と膝が痛み出し、昔の農家の人達は大変なおもいをして作っていたんだなあつくづく考えさせられます。

何事も体験してみないと解らないし、これによってお米を愛おしく思えるようになりました。大事に、大切に食べさせていただきます。

次は、大阪府の松本喜裕さんにバトンタッチいたします。



想造量子宇宙論講座は、最初に正座する時間があります。この時間で参加者の意識が整って気持ちのいい学びが出来ます。



長野支部勉強会 (じんちを高める実践)

学問を学ぶ意義

理論をつかいこなすってどういうこと?



想造量子宇宙論応用課程



産業講座

20年前「本来の己に戻る」ということについて、佐藤先生がお話しされていて、今でもとても印象に残っています。今私たちが学んでいる「ちちち」は本来の己を超えるということでしょうか。

佐藤先生：あなたは本当にそう思っているの？ あなたのうちにちちちはすでにあるもの、本来の己のもつ能力だから引き出されるもの。氷河期など地球の過酷な環境の中で生き物が生き抜いてこれたのは、存在単位個がうちの能力がありそれを引き出すことができたから生命をながらえてこれた。そう私は推理して実践を繰り返して実証してきたんだよ。

編集部では、3Pの「ちちちの音実験」で、能力を高めた空間の中では、音でもこの物語を誘導し、音ちちちの想造主によって、命慧を通した音の次元が変わつたと考察しました。勉強会では様々な角度や次元から存在単位個が共通にもっている仕組み、宇宙や自然の摂理の学びがあります。

このちちち実験のように、学びを活かして命慧をよりつかいこなせる側になれるとも言えますね。

こうして自分の中で実感していくと学んできた理論ひとつひとつが「ここにあるもの」と認識できたとき、つかえるものとなるんだ、これって想造することなんだと思えるのです。

佐藤先生が幾度も「あなたが本当にあると思えたとき、それはつかえるようになるんだよ」と言われていたことがやっと「そういうことなんだ」と自分の感覚で捉える

ことができるようになりました。

学問を自分のものにしていくためにどうしたらいいのでしょうか？

自分自身や今、自分の目の前にあるものに置き換えながら、反応を自分の感覚で捉えて、実感し、確信に変えていく繰り返しでしか体得できないように思います。

「自然は共通する仕組みを持っている、それをどこまでも解いていく」と佐藤先生は言われます。そして、すべての存在が必要とするものを生み出し、産業化されています。

「でも、どんなにつくって産業商品が仕事をしたとしてもその価値を必要としないければ、何もせえない。いちばん難しいのは、論理学に必要を伝えていくこと」と先生の壁をポロリとお話ししてくるときもあります。

ありがたいことに、私たちは論理学を知らなくても、目的に応じて環境を高めることで存在の能力を引き出し摩訶不思議な現象を目の当たりにしています。

でも、どこまでも可能性を求め成長や進化を必要としていけるかは私たち自身に委ねられています。

モチベーションを高めたり、新たな視点を得られたり、様々な産業で取り組まれている仲間の熱い想いに触れられたり、今あるものを最大限に活かせる手段がまつまっている勉強会。

7月から約3年ぶりに各講座が再開しました。学問を学ぶ意義をもつ一度噛み締めながら共に学びませんか？

